

2級 練習プリント

問1 次の各取引を仕訳しなさい。ただし勘定科目は以下の中から最も適当なものを選ぶこと。

現金	社債	当座預金	受取手形	売掛金
売買目的有価証券	前払金	前払家賃	未収金	社債償還損
立替金	備品	支払手形	松山支店	前受金
仮受金	未払金	借入金	減価償却費	固定資産売却益
減価償却累計額	売上	受取手数料	雑益	仕入
旅費交通費	社債償還益	前払保険料	未払家賃	支払利息
手形売却損	有価証券評価損	雑損	本店	高知支店

- (1) 土佐海援隊商事は、坂本商会に商品であるカツオ缶詰 1,000,000 円を売渡し船便で発送した。発送に際して土佐海援隊商事は薩摩銀行で8掛けの荷為替を取組み、割引料 10,000 円を差し引き、残額を当座預金とした。
- (2) 平成 25 年度期首に、額面総額 1,000,000 円の社債を ¥100 円につき 99 円で全額買入償還し、代金は小切手を振り出して支払った。この社債は平成 23 年 4 月 1 日に額面 ¥100 円につき 97 円で発行（償還期間 5 年）したものであり、償却原価法（定額法）を適用している。なお、決算日は 3 月 31 日である。
- (3) 平成 22 年 4 月 1 日に取得した車両（取得原価 ¥1,000,000、残存価額 10%、耐用年数 5 年）を次の各方法により減価償却を行いなさい。なお、当期の決算日は平成 25 年 3 月 31 日である。円未満の小数点は四捨五入する事。なお、記帳は間接法で行っている。
 - ①定額法
 - ②定率法（償却率 37%）
 - ③生産高比例法（見積走行可能距離 2,000km 前期までの走行距離 1,200Km 当期の走行距離 350Km である）
- (4) 石川商事株式会社の本店は、松山支店から高知支店への現金 50,000 円を送金した旨の通知を受け取ったので仕訳を行った。なお、同社は本店集中計算制度を採用している。

問1

	仕 訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)	(定額) (定率) (生産)			
(4)				

2級 練習プリント[解答]

問 1

	仕		訳	
	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
(1)	売掛金 当座預金 手形売却損	200,000 790,000 10,000	売上	1,000,000
(2)	社債 社債償還損	982,000 8,000	当座預金	990,000
(3)	(定額)減価償却費 (定率)減価償却費 (生産)減価償却費	180,000 146,853 157,500	減価償却累計額 減価償却累計額 減価償却累計額	180,000 146,853 157,500
(4)	高知支店	50,000	松山支店	50,000

※(3)の減価償却の問題ですが、通常は「車輛減価償却累計額」となります。ただし、123回で現金・当座預金のかわりに「現金預金」が使われた事もありますので、あえて「減価償却累計額」を使用しました。

本試験では、必ず「与えられた選択肢から」選んでください。